事業評価票

119	無縁墳墓処理 (建設局公園緑地部 / 一般会計)	事業開始	平成 12 年度
		事業終了予定	平成 - 年度

【局評価】

1 どのような経緯で事業を始めたか、何をを目指すのか	
<p>○ 都立霊園において、使用者が死亡し縁故者が不明及び承継する意思がないことによる「無縁墳墓」が存在し、霊園の管理料滞納や荒れ墓所の要因となっており、霊園の管理上、管理料の徴収や縁故者への承継指導等を行い適正化を図る必要があった。</p> <p>○ 平成11年に墓地、埋葬等に関する法律施行規則の改正があり、無縁改葬手続が簡素化された。</p> <p>○ 計画的に無縁墳墓を整理することにより、管理料の長期滞納案件を減らし霊園管理の適正化を図るとともに、貸付墓所の確保を目指して、12年度から、無縁墳墓調査整理事業を開始した。</p>	
根拠法令等	東京都霊園条例 墓地、埋葬等に関する法律

2 どのように取り組み、どのような成果があったか	
<p>事業の手法 無縁墳墓調査整理事業として、管理料5年以上滞納の墓所を対象とし、使用者・縁故者の生死所在を調査して、管理料支払や承継について指導を行って適正化を図り、適正化のなされない墓所については、使用許可を取消した上で、遺骨を改葬している。</p> <p>○ 平成21年度までの成果 無縁墳墓整理対象2,595件、そのうち適正化されたものが1,007件、また使用許可取消件数が1,588件であった。使用許可取消墓所については、改葬工事を行い、貸付墓所や広場等整備に活用している。</p> <p>22年度からの取組 無縁墳墓調査整理事業の一層の促進を図るため、調査対象件数を従来より倍増させた。また、対象者の在籍調査事務を指定管理者である公益財団法人東京都公園協会に業務委託している。</p>	

3 どのような課題や問題点があったか	
<p>無縁墳墓調査整理事業は、法律に基づく1年間の立札設置や官報公告等の周知を行なうほか、調査対象者の戸籍調査を行い、3親等以内の縁故者の生死、所在を調べ、その結果に基づき妥当な縁故者を判定し、管理料支払指導、承継指導、聴聞を行なうなど専門性が高く、一定の時間を必要とする事務である。そのため、事業開始から10年が経過した21年度末時点でも、2,617件の調査対象墓所が存在している。</p> <p>使用許可取消墓所の改葬工事では、条例に基づき遺骨を多磨及び八柱霊園内の無縁塚に改葬しているが、事業の進捗に伴い既存の無縁塚では遺骨を収容しきれなくなっている。</p>	

4 局として、事業をどうしていきたいか					
☒ 拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他		
<p>○ 無縁墳墓調査整理事業については、平成23年度より、新たな指定管理者との協定の中で事務分担を整理し、指定管理者の業務を拡大した上で都と連携して業務を円滑に進める。</p> <p>無縁墳墓の調査対象件数を倍増し長期滞納案件の滞留分を解消するとともに、無縁墳墓調査整理事業以外の荒れ墓所対策や徴収事務の充実と併せて、霊園管理の一層の適正化を図る。</p> <p>○ 事業の進捗に応じ、施設規模・場所等を検討の上、新規無縁塚を八柱霊園にて整備していく。</p>					
歳入	21年度決算額	- 千円	歳出	21年度決算額	9,534 千円
	22年度予算額	- 千円		22年度予算額	172,652 千円
	23年度見積額	- 千円		23年度見積額	99,497 千円

【財務局評価】

5 財務局として、成果や課題などについて、どう考えたか	
<p>都立霊園において、管理料を5年以上にわたって滞納している墓所使用者が多く存在しているという事実は、墓所使用者間における負担の不均衡という視点のみならず、都立霊園の適正な管理という面からも改善を要すると考えられる。</p> <p>無縁墳墓の整理を各都立霊園においてより一層促進し、循環利用による墓所の供給を拡大していくためには、計画的な無縁墳墓調査整理事業の執行が不可欠である。当該事務を拡充していくことは適正な都立霊園の管理者としての責務であると言える。</p> <p>一方で、今後多くの対象墓所の調査を行うに当たって、将来的な人員体制を鑑みると都単独での対応は困難であると考えられる。長年霊園管理行政の補完に携わってきた経験と、戸籍調査等の専門性の高い業務への実績を有する東京都公園協会への在籍調査事務の委託は、引き続き都直営業務を補完するものとして必要なものとする。</p>	

6 23年度予算で、どのように対応したか			
☒ 拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他
<p>都立霊園の適正な管理のため、掲示板設置や整理事務等の無縁墳墓処理業務について、局案どおり予算を計上する。</p> <p>また、無縁墳墓調査整理事業の進捗に伴い、遺骨の改葬先となる約11,000体分の無縁塚の整備を八柱霊園にて行うべく、所要の予算を計上する。</p>			
歳入	23年度予算額	- 千円	
歳出	23年度予算額	99,497 千円	